

MDプログラム ブロック3

チュートリアル <改訂の観點>

無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意下さい。(常五)

課題 1998-B3-2

課題番号：1998-B3-2用シート

課題シート（3）

来院時（生後16日）のMKちゃんの体重は、3190g、身長は50.7cm、意識は清明。体温37°C、脈拍107/分整。呼吸数30/分やや不整。顔つきは正常であるが、小泉門が5mm×5mmの大きさで開いている。甲状腺腫は触知しない。呼吸音、心音および腹部に異常を認めず、小奇形もなかった。瞼、皮膚に異常は認めない。

5歳の兄がいるが成長・発達は正常である。

課題番号：1998-B3-2用シート

課題シート（4）

(2) オーブ顕微鏡

●一般末梢血液検査：

赤血球数 $313 \times 10^4/\text{mm}^3$, Hb 8.9g/dl, Ht 28.4%

白血球数 $7800/\text{mm}^3$

●血液生化学的検査：

AST(GOT) 38 IU/l

ALT(GPT) 19 IU/l

BUN 15.9 mg/dl、血清クレアチニン 0.23 mg/dl

血清総コレステロール 157 mg/dl

(日本人小児の臨床検査基準値に関する資料参照)

●甲状腺ホルモン検査

TSH 56 μU/ml (正常範囲 0.34~3.5)

thyroxine (T4) 2.86 μg/dl (正常範囲 4.6~12.6)

triiodothyronine (T3) 0.47ng/ml (正常範囲 0.8~1.8)

●膝関節レントゲン写真

(ほぼ同日齢の正常小児のものと比較して供覧)

課題番号：1998-B3-2用シート

課題シート（5）

クレチン症の診断にて甲状腺ホルモン（チラージンS）による治療が開始された。

発育、発達は順調で、6年後に小学校に入学したが、身長の伸びも正常で、運動機能も良好であり、学校ではすべての教科についてよい成績を取っている。